

令和5年度学校関係者評価報告書

令和6年2月16日

今治市教育委員会教育長 様

今治市立西中学校長 白石 裕太 印

学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

記

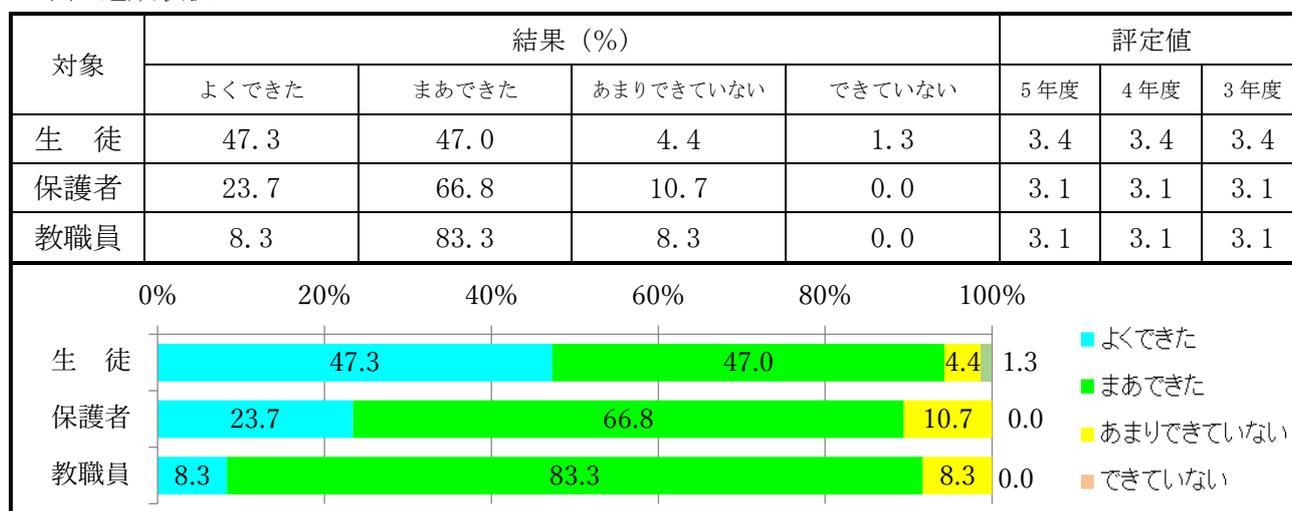
1 学校関係者評価の構成員

学校運営協議会委員（学校評議員）6名、校長、教頭、主幹教諭、生徒指導主事

2 学校の教育目標の達成状況（概要）

(1) 教育目標 「自分らしさを発揮し、よりよく生きる生徒の育成」

(2) 達成状況



3 主な取組の課題と改善

(1) 「自分の考えや意見を持ち、授業や行事の中で積極的に話合いや発表ができる」が本校の課題である。自分の考えや思いを人に伝えることに恥ずかしさや抵抗感を感じる生徒が多数いるため、今後も全教育活動において意図的に話し合ったり表現したりする場を設定し、伝え合う力の育成に取り組んでいくことを確認した。

(2) 保護者は、生徒の学習意欲や基礎・基本の定着に不安を抱えていることが分かった。特に、日常的な家庭学習の取組に課題が見られる。スタディサプリの活用や学習の手引きの使用方法について、今後も検討していかなければならない。

(3) 教職員のアンケート結果を見ると、教育目標の達成について「よくできた」が8.3%しかおらず、「あまりできていない」も8.3%いることが分かった。教職員が校長の掲げる教育目標を常に意識して生徒の育成に励む必要がある。

(4) 令和3年度から要望のあった名札のクリップ式への変更について、保護者にアンケートを取り、令和6年度よりクリップ式へと変更することにした。

4 その他―学校運営協議会委員（学校評議員）による意見及び提案―

(1) 生徒について

- ・ 昨年度に比べ、挨拶に元気がないように感じる。学校内外に関わらず、自分から進んで挨拶をする生徒を育てていく必要がある。学校と保護者、地域が総がかりで取り組んでいくよう、働き掛けていくことを確認した。
- ・ 部活動の帰りと思われるが、下校時にスマホを片手に自転車に乗っている生徒を見かけたことがある。交通マナーやルールをしっかりと守る生徒を育てていかなければならない。今後も継続的に指導をしていくことを確認した。

(2) 生徒指導について

- ・ L G B T Qの観点から、生徒会が中心となって校則の改定を進めるのは非常に良いことである。こうした取組や変更内容が、保護者に伝わっていないこともある。「どのような基準で改定を進めているのか」「変更点が分かるような配布資料を作る」「改定の日付を入れる」など、具体的なご意見をいただいた。また、教職員の校則における認識の違い等も見られるため、指導する立場の教職員がしっかり情報を共有することが大切である。

(3) その他

- ・ タブレットを使つてのテストが増えてきているようだが、3年最後の定期テストで突然タブレットでのテストとなり、戸惑った生徒もいたようである。成績や進路に神経質になっている時期なので、タイミングを考えて実施した方が良いと思う。
- ・ 少年式に参列したが、体育館後方に生徒の作品が展示されていたため、来賓席からは見ることができなかった。来賓の入場ルートを変更して、見る機会を作ってほしい。